

十勝地区農協組合長会（有塚利宣会長）と十勝農協連（山本勝博会長）は、帯広厚生病院の新築移転について、運営する道厚生連（札幌市）から受けていた10億円の増資要請に応じることを決めた。同病院新築に対する支援では、帯広市、十勝町村会も含め、道厚生連側の支援要請は全て認められた。

同病院は2018年に、帯広市西14南9への移転新築を予定している。道厚生連は昨年、移転に伴い財務面の体力強化が必要との判断から、同組合長会に対し財政支援を要請。今年2月に10億円の増資を求めた。組合長会側は支援に合意し、8月から3回、役員などによる検討委員会を開いて支援手法を検討してきた。

10億円のうち3億円を十勝農協連、7億円を十勝管内

の24JAで負担する。十勝農協連は8月の理事会で、同組合長会は9月22日の会議で出資を決めた。

各JAの負担は、組合員とその家族、地域住民らにも恩恵があることから、農業者以外の准組合員も含めて、各JAの組合員数で割る手法で主に算出するとした。15年度から3年間で各JAが出資し、一括、分割などは各JAが今後の総会や理事会などで決める。

同組合長会の有塚会長は「十勝の安全・安心のため、（JA）連合会としての約束を果たすことができた」と話している。道厚生連の現在の出資金は25億5000万円で、うち管内24JAと十勝農協連の出資額は計約1億5000万円となっている。

道内JAの2013年度純利益 10傑に十勝8JA

2013年度の道内109JAの経営状況で、一般企業の純利益に当たる当期剰余金はJA帯広かわにしが2年連続で1位だった。十勝管内のJAが1位となったのは7年連続。上位10JA中8JAが十勝で、各JAの堅調な経営結果が反映された。

道内JAランキング			
JA道中央会調べ			
順位	JA名	地区名	金額
当期剰余金(純利益)トップ10			
1	帯広かわにし	十勝	5億7384万円
2	士幌町	十勝	5億2360万円
3	おとふけ	十勝	4億6272万円
4	きたみらい	オホーツク	4億5598万円
5	めむろ	十勝	4億5063万円
6	中札内村	十勝	4億4320万円
7	鹿追町	十勝	4億4215万円
8	さらべつ	十勝	4億1639万円
9	十勝清水町	十勝	3億9032万円
10	道東あさひ	根室	3億3180万円
販売支払高トップ10			
順位	JA名	地区名	金額
1	道東あさひ	根室	362億円
2	きたみらい	オホーツク	355億円
3	ふらの	上川	294億円
4	士幌町	十勝	293億円
5	新はこだて	道南	282億円
6	ようてい	後志	199億円
7	帯広かわにし	十勝	197億円
8	めむろ	十勝	195億円
9	きたそらち	空知	182億円
10	十勝清水町	十勝	180億円

JA道中央会が各JAの報告を基に、「北海道2014JA要覧」として経営状況をまとめた。

帯広かわにしの当期剰余金は前年比6.9%増の5億7384万円。豆類、ジャガイモ、肉牛の販売や、12年産のナガイモの取引が堅調だったことが後押ししたとみられる。同JAは05、07、08、12年度も1位だった。

2位は士幌町で同9.1%増の5億2360万円、3位はおとふけで同4.8%減の4億6272

万円と、十勝管内が3位までを占めた。十勝はこの他、めむろ、中札内村、鹿追町、さらべつ、十勝清水町がトップ10入り。13年の農業生産が好調だったことを受け、昨年より1つ多い8JAが10位以内に入った。十勝以外

では、きたみらい（オホーツク）が4位、道東あさひ（根室）が10位だった。

一方、経営所得安定対策を含まない生産者への販売支払高では、十勝勢は士幌町が昨年と同じ道内4位で、前年比7.6%増の293億3675万円だった。乳価の値上げや好調な肉牛販売が影響した。

1位は道東あさひ（前年2位）の361億9142万円、2位はきたみらい（同1位）＝オホーツク＝の354億8341万円。十勝は他に、7位に帯広かわにし（同9位）、8位にめむろ（同8位）、10位に十勝清水町（同ランク外）が入り、10位以内は昨年より1つ多い4JAとなった。

当期剰余金で1位になった帯広かわにしの有塚利宣組合長（十勝地区農協組合長会会長）は「組合員に3億円を還元した上で、これだけの純利益を出すことができた。十勝のJAは全道12地区の中でも取扱高や預金がたくさんつに優れており、五連（ホクレン、JA道中央会など）を支えている。農協改革で求められている、組合員を主人公とした経営ができています」と話している。